

# 縄文の衣

～喜びを伝える風と時間の祝祭～



縄文から現在、未来を繋ぐ、茅野の風土と人々の想い。衣装デザイナー・時広真吾さんと市民参加者の皆さんが「衣」をテーマに表現するパフォーマンスを、茅野市永明小学校の体育館を舞台に創作・上演しました。着用する衣装の制作に合わせて、茅野の土などを素材にした染色のワークショップを行ない、市内小学校の「縄文科」授業でのアウトリーチ（出張授業）も実施しました。

平成29年度茅野市民館主催事業「あそびからクリエイティブ」  
主催：茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造  
助成：平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業  
一般財団法人 地域創造

縄文から現在、未来を繋ぐ、茅野の風土と人々の想い。衣装デザイナー・時広真吾さんと市民が「衣」をテーマに表現するパフォーマンスを創作します。小学校の体育館が、劇的な時空間に変わります。

山口県生まれ、ジャーナリストからスタイリストへ、1991年にモーツァルトのオペラ「魔笛」より、舞台衣装デザイン開始。独自のスタイルで創造された衣装たちは「風が舞う衣装」「換装する衣装」「格闘する衣装」「文学的抒情」など様々な名前が、一流アーティストや演出家から与えられている。衣装展およびワークショップはアジアの4国（韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）を拠点として、国内でも各地で開催されている。シエタスピアの衣装でヨーロッパのフェスティバルから招聘される、舞臺劇演出「福村」や「トラマテック」など、国内外で活躍している。これまで、美穂秀樹、松村誠、真次みよ、安藤さや、空川桃、佐野真由子や大塚吉雄他演出「舞臺」、東原アツシ、レパートリーシアターなどに衣装提供。プロ集団によって構成する「四つ葉の会」、2010年より各地の地元のアーティストたちがコラボする「美の礎」プロジェクト等を各地でプロデュース。海外ではオールラウンドアーティストと称され、デザイナー、写真家、詩人、パフォーマーをこなす。作品集もこれまで9冊出版している。



お問合せ  
茅野市民館  
指定管理者 株式会社地域文化創造  
〒391-0002 茅野市塚原一丁目1番1号  
TEL 0266-82-8222  
9:00～22:00 火曜休館  
<http://www.shimoshiminkan.jp/jomon/>

衣装制作ワークショップ  
「土と布で遊ぼう!土染め体験」

7月2日(日)  
茅野市民館 イベントスペース

「縄文の衣～喜びを伝える風と時間の祝祭～」  
創作日

8月11日(金・祝)、9月13日(水)、14日(木)、15日(金)  
茅野市民館 マルチホール

茅野市内小学校  
「縄文科」授業でのアウトリーチ

7月13日(木)、14日(金)  
茅野市立豊平・北山・金沢・永明小学校

パフォーマンス  
「縄文の衣～喜びを伝える風と時間の祝祭～」

9月16日(土)  
茅野市立永明小学校



### 衣装制作

大地の「土」を素材にした染色により「縄文の衣」を制作するワークショップを7月に実施。本間江里さんを講師に、参加者の皆さんと水だけで染まる土染めの衣を試作しました。豊平小、北山小、金沢小、永明小では、155名の児童と一緒に、土染めTシャツを制作しました。

### 創作

衣装デザイナー・時広真吾さんの構成・演出により、茅野に縁のあるダンサーの小笠原大輔さん、永田桃子さん、木元梨枝さんと、出演・衣装制作で小学1年生から80代まで31名の地域の皆さんが参加して創作しました。



### パフォーマンス

永明小学校の体育館に音響・照明を仕込み、ステージを客席とした舞台を設営。満席となる約100名の皆さんにご来場いただき、太古から現在、未来へつなく「祝祭空間」が出現しました。大地のうねりや震え、時に激しく時に穏やかな風感覚などを、それぞれの身体と布の動きで表現し、茅野の歴史と、そこに生きる人々の願いと想いを綴りました。